

— 種から育ててみましょう！ —

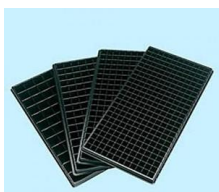
種をまいて花を咲かせる・・・少し難しそうに思いますが、基本をおさえれば簡単にできます。それに花が咲いた時はとってもうれしいものです。さあ、種まきしてみましょう。

🌱 種まき 🌱

花壇に直接種をまいてもいいですが、雑菌で苗が病気になったりしないためにも、清潔な土にまくのはとてもいいことです。1つの枠に1粒の種をまきましょう。

準備物

プラグトレイ



一般的には、200穴のトレイを使いますが種の大きさによって使い分けます。

種まき専用の土



(種まき培養土：肥料がほとんどない)

種



(例：ジニアの種)

※：種子は種まき直前まで、冷蔵庫で保管する。

○種まきの仕方

1 プラグトレイ土入れ

①種まき培養土に水を入れて、土をよくかき混ぜます（コンテナ端の土も十分混ぜるようにします）。湿り具合が、土を軽く握った時にふんわりした塊になるくらいがまでかき混ぜます。湿った種まき培養土をプラグトレイに入れます。土が入ったプラグトレイを両手で持ち上げ、床などに軽く落とし、詰め込んだ土の隙間をなくします。土が沈んだら土を入れて、手や板などで、土の表面をならします。



水を入れます



土をかき混ぜます



土を軽く握った時のふんわりした塊



プラグトレイを持ち上げます



プラグトレイを軽く落とします



土の表面をならします

2 播種

- ・ピンセットでつまむことが簡単な大きい種子（ジニアなど）の場合は 2-1 へ
- ・ピンセットでつまむことが難しい小さい種子（ペチュニアなど）の場合は 2-2 へ

2-1 ピンセットでつまむことが簡単な大きい種子（ジニアなど）の場合

①プラグトレイの土に 1 個ずつ深さ 5mm 程度の丸い穴をあけます。



棒等を使用して丸い穴をあけます



穴（拡大）

②ピンセット等を使用して種をつまみ、穴に 1 粒ずつ丁寧に種を播きます。
播き終わったら種が隠れる程度に覆土します。



種（ジニア）



ピンセット等を使用して種をつまみます



種を播きます



播いた種



覆土します

2-2 ピンセットでつまむことが難しい小さい種子（ペチュニアなど）の場合

①小さい種子の場合は竹くしと紙（A4 半分程度の大きさの紙）を使用して種を播くと便利です。
半分に折った紙に種をおきます。



竹くしと紙

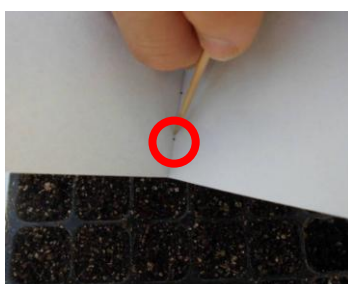


種（ペチュニア）



半分に折った紙に種をおきます

②種を落とさないように紙を持って、播きたいところに紙を向けて竹くしで 1 粒ずつ播きます。



竹くしで 1 粒ずつ播きます

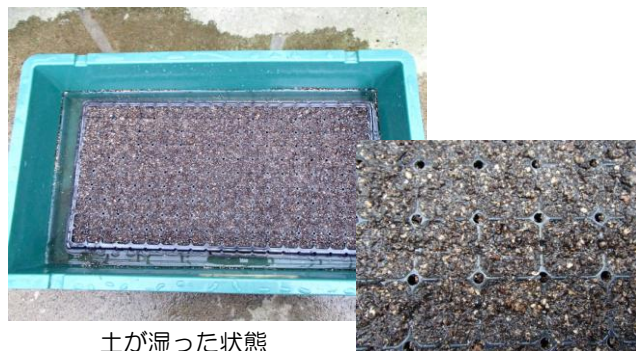
※ペチュニア、コリウス、ヘゴニアは好光性種子ですので種まき後の覆土は必要ありません。

3 水やり

①トレイなどに水を張り、プラグトレイの下から水を吸わせる底面給水で水やりします。土の色が黒く変わるまで下からしっかり水を吸わせます。土が湿ったらすぐに水から上げます。



土が乾いた状態



土が湿った状態

4 種まき後の管理

①ラベルに種まき日、花の名前、花の色を記入してプラグトレイにたて、発芽するまでは風通しの良いなるべく涼しいところに置きます。土の表面がうす茶色になったら土が乾いたサインです。底面給水で水をやさしくやりましょう（水のつけっ放しは絶対にしないようにします）。



※発芽するまでは絶対に乾かさな
いようにします。

②苗が出そろったら、根の張りを良くするため、日当たりと風通しの良い場所に置きます。



※日当たりが悪いところだと苗が徒長するので、
日当たりが良いところに置きます。

🌱 ポット上げ 🌱

根が十分回ったら苗（目安として種まきしてから約3~4週間、但しベゴニアは種まきして約50~60日間）をポットに植え替えます。これをポット上げといいます。いつまでも狭いプラグトレイの中におくと生育不良をおこして良い苗になりません。ポット上げをすると、小さい苗がぐんぐん大きくなります。プラグトレイから直接花壇に植えるよりも、段階的に根の部屋を広くすると、丈夫な苗になります！

準備物

ポリポット



一般的には、径が9cmの
ポットを使います。

ポット上げ（育苗）用の土



育苗用培土：肥料が入っています

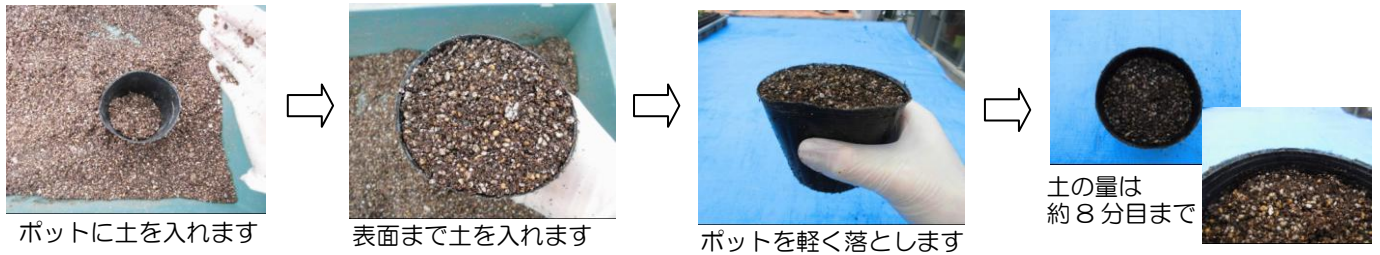
苗



○ポット上げの仕方

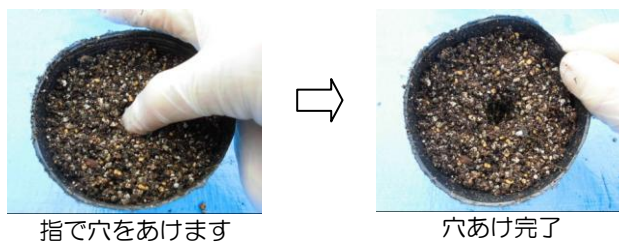
1 ポット土入れ

①プラグトレイ土入れと同じように土に水を入れて、湿り具合が、土を軽く握った時にふんわりした塊になるくらいまで土をよくかき混ぜます。手で土を軽く握って、ポットの表面まで土を入れます。ポットを上から軽く落として土が沈んだときに土の量がポットの約8分目になるようにします。



2 ポット穴あけ

①ポットの中央に指で穴をあけます。



3 苗植え付け

①苗を傷めないようにフォークでプラグトレイの土を挿します。土を持ち上げるような感じでプラグトレイから苗を取り出します（持ち上げる際は、土を崩して根を傷めないようにします）。

苗をポットの穴にやさしく入れて土を寄せたら植え付け完了です。植え付けはポットの土の表面と苗の土の表面が同じくらいになるようにします。



4 水やり

①弱い水圧のシャワーでやさしくポリポットの下穴から水が流れ出るくらいたっぷりと水をやります。

2～3日は直射日光や風があたらない場所に置きます。その後は、日当たりの良い場所に移します。土の表面が乾いたら、たっぷり水をやりましょう

🌱プランター・花壇への定植🌱

①ポット上げして根が十分まわったら(目安として約3～4週間)プランターや花壇に定植します。

定植が遅くなると根詰まりをおこすので注意してください。

②必ず、日当たり・水はけが良いところに植えてください。

プランターや花壇に植える場合は、植える場所を少し高くすると、水はけが良くなります。

③肥料は固形肥料または、液体肥料のどちらでも良いですが、ラベルの使用 방법에従い、やり過ぎないように気をつけてください。

④咲き終わった花がらをこまめに摘むと花が長く楽しめます。

⑤種の収穫間近になると花壇が見苦しくなりますので、種を採るための区域を別に設けておくと、花の入れ替えがスムーズに行えます。

🌱 種とり 🌱

- ①採取した種は、屋内で乾燥させます。
- ②乾燥したら花の中から種を取り出してゴミと分別し、封筒などに入れ冷蔵庫で保管します。

例：コスモス



【種の返却についてのお願い】

「ふっくりんバンク（フラワーバンク）」は、花の種を貸し出して花を育て、収穫できた種を返却していただく制度です。

今後もこの事業（バンク）を継続的に実施できるよう、花を種から育て、花いっぱいにしていただいた後は、種を収穫し、借りた種以上の種を出来る限り返却していただきたいと思っております。

収穫した種は、花の種類毎に同封の封筒に入れ、種の数量を記入して貸出し窓口に通帳と一緒にお願いします（次に借りられる方が使いやすいように、できるだけゴミは取り除いてください）。

窓口で返却日と数量を通帳に記入します。

なお、「ふっくりんバンク報告書」の提出もお願いします。

みなさまのご協力をお願いします。

お問い合わせ先：福井県総合グリーンセンター

緑化・花づくり推進部

TEL 0776-67-0002

FAX 0776-67-0004



ふっくりん

※この資料の育成方法は一例です。花の生長は管理や環境条件によって変わりますので生育環境にあわせてポット上げ等の栽培をしてください。



はびりゅう

①ケイトウ



⑧日本小菊



②ジニア



⑨コリウス



③センニチコウ



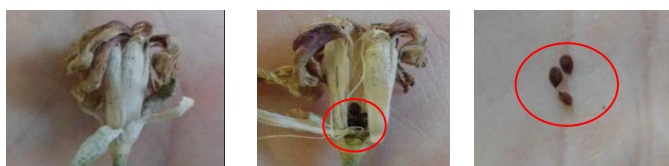
⑩ベゴニア



綿の中に種があります

割くと中に細かい種があります

④ナデシコ



⑪クレオメ



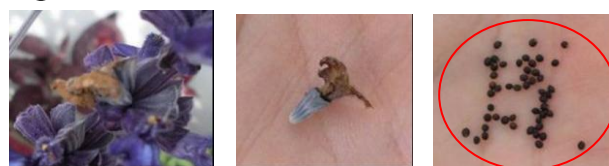
赤丸の部分に種があります

さやの中に種があります

⑤ペチュニア



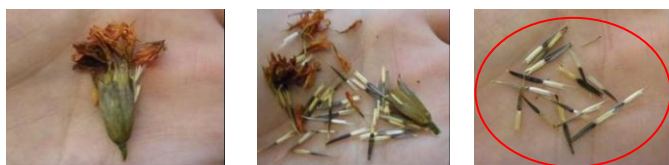
⑫ブルーサルビア



半分に割ると中に種があります

紫の部分に種があります

⑥マリーゴールド



⑬ナスチウム



乾燥すると右のようになります

⑦メランポジウム



⑭ヒマワリ



赤丸の部分に種が並んであります